

原発ゼロ・本腰をすえた 再生可能エネルギー対策を

2012年9月定例会で、市長に「原発ゼロ」の立場に立つよう求めるとともに、再生可能エネルギー対策について、①地域のエネルギー資源は地域で活用すること、②地域経済再生につながるエネルギー産業とすること、③そのための京都市としてのルールづくりをすすめるよう質しました。

京都市は、「産業観光局と環境政策局が連携して対策をすすめるとともに、再生可能エネルギーの地域産業化の体制をつくる」と答弁しました。

上下水道料金の値上げやめよ

京都市水道局は、昨年12月の交通水道消防委員会で上下水道事業の料金表を含む「条例改正案」を2013年度予算議会に上程する考えを示しました。党議員団は、不況と雇用の不安定、市民所得の低下が進むもとの上下水道料金の値上げは許されないとの「声明」を発表しました。水道会計は5年連続黒字、下水道会計は2年連続黒字です。市民生活と京都経済に与える影響は大きく、値上げ中止に力をつくします。

日本共産党 京都市会議員

山 中 渡

わたる
です



URL <http://yamanaka-wataru.jp/> 〻 shikai@yamanaka-wataru.jp

市民協働発電事業

京都市は、市民協働発電制度の初回事業者を公募により決定しました。
昨年12月の予算特別委員会で、①事業者の信用力と公益性の確保、②太陽光発電設備と公共施設利用のルール、③今後の民間施設利用のルールづくり等について質疑しました。京都市は、「今回の制度は市民参加が目的。民間施設利用の検討はこれから」としました。



京都芸術センターを視察

市会くらし環境委員会として、1月8日、市民の芸術活動支援と情報発信等を目的に設置された京都芸術センターを視察しました。
中京区の元明倫小学校跡地を活用した施設で、当日も制作室、展示室を活用した展示準備、ダンス練習や創作活動が行われていました。業務の多様さに比べてスタッフ等の体制補強が必要との思いを強くしました。

下京区の保育園関係者の皆さんと下京区選出の全議員が参加する保育予算懇談会が開催され、意見交換を行いました。
京都市では待機児童解消策として定員外入所がすすめられています。どの園でも保育士の仕事量や非正規雇用が増えたことで、保育の安全性の向上や処遇改善を求める声が共通して出されました。党議員団として2月からの予算委員会で取り上げます。



保育予算で意見交換